



ホームページ



Instagram

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

こいのぼりの形をした壁紙に、子供たちそれぞれがマスキングテープやペン、シールを使ってオリジナルの可愛いこいのぼりを作りました。



コロナウイルスの関係で外出を控えている状態ですが、子供たちが作ったこいのぼり達は、気持ちよさそうにフロアの中で浮かんでいました。

放課後等デイサービス くれよん では
こどもの日に向けて、こいのぼり製作を行いました！



平野西一部長会のみなさまから手作りマスクをいただきました。大人サイズから子供サイズまで、どれも色鮮やかなものや可愛らしい柄で、子供たちも気に入って着用しています。子供たちからは、お礼のプレゼントを渡すために、一人ひとり気持ちを込めてお手紙を書きました。

地域の方から子供たちに
手作りマスクをいただきました

楽しい時間を
みんなと一緒に

外出自粛中の期間は屋上でシヤボン玉をしたり、くれよんで育てている亀や野菜のお世話をして、外の風を感じて過ごしました。



トマト・ピーマン・キュウリなど夏野菜を栽培しています

子ども達も「コロナ早く終わって〜」「学校行きたいの〜」と話していましたが、子ども達からの遊びの提案も多く、室内での過ごし方も充実したものになったのではないかと思います。



ヘルパー日誌

『顔馴染み』対『揚げ物』

「顔馴染み」の意味をパソコンで調べると【何度も会って顔を知っている事】と記載がありました。

私が携わっている利用者さんの中に、夕方の時間を使って外出されている方がいます。曜日や時間によって行先は違うのですが、コースは毎回同じです。

毎回同じコースを数年続けているとお店の人に顔を覚えられ、買い物をする訳でもないのに高級ふとんの店員さんや、豆腐屋のおばさんから声を掛けられるそうです。本人も声を掛けられることが嬉しくて、必ず立ち止まってお喋りを楽しんでいます。

今では、顔馴染みの人に会うことが外出の目的の一つになっています。ただ、新型コロナウイルスの影響で電車やバスを利用した外出を自粛することになり、自宅周辺を散策するコースに変更することになりました。

顔馴染みの人に逢えないことを残念に思われていましたが、自宅周辺での散策を繰り返しているうちにコンビニに

立ち寄り、揚げ物を買う楽しみを見つけたそうです。今度は顔馴染みの店ができたそうです。

新しい外出コースができた頃、緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式が示されたこともあって、ご自宅に訪問して今後の外出について本人に尋ねてみたところコンビニの揚げ物ではなく、高級ふとんの店員さんと豆腐屋のおばさんに逢えることを楽しみにされていました。

揚げ物より人だったようです。障がいのある方は、普段の生活の中に様々な生活のしづらさを感じておられます。残念なことに私たち事業所のスタッフだけでは全ての問題を解決することはできません。でも、地域の中に障がいがある人のことを知っている人がたくさんいたとしたら、今よりも生活しやすい地域ができるのではないのでしょうか。

コロナウイルスの件での
ご協力、ご対応ありがとうございました。
ございました。

法人としましても、利用にあ
たって利用者さん、職員の来
所前の検温や、手指のアルコ
ール消毒の徹底、フロアのア
ルコール消毒等、感染防止に
取り組んでいます。

利用を自粛していただいでい
るご家庭には、電話や居宅訪
問での支援も行ってきました。
また、利用者さんの利用の
時間短縮に伴い、職員の時間
短縮での出勤、自宅待機日を
作ることや、法人からのマス
クの配布等、職員が少しでも
安心して働けるよう、働き方
にも工夫をしてきました。
まだ完全に終息した訳ではな
く、第二波、第三波も来ると言
われています。引き続き意識
を高く持ちコロナウイルスに
向き合いいろいろなことに取
り組んでいけたらと思いま
す。

生活介護ひらの 世界に一つだけのオリジナル絵ハガキ



生活介護ひらのの作業の一環
として取り組んでいる和紙
(ハガキ)作りですが、ハガキ
を購入して下さっている方か
ら絵手紙が届きました。
作ったハガキがこのようなど
ても温かみのある素敵なもの
に生まれ変わり、利用者さん
から、この絵ハガキを見て

「かわいい！」という声も聞
こえてきました。
皆さんのハガキ作りに対する
やる気も変わってきたら良い
と思います。
世界に一つだけのオリジナル
ハガキを今後も皆さんと一緒
に作っていけたらと思いま
す。

Souta Collection 第3段



新規利用

4月1日より生活介護ひらの
に新しい仲間が2名加わりま
した。
おふたりともくれよんを利用
されていた方で、生活介護ひ
らには顔見知りの職員もい
ますので、今後も安心してご
利用いただければと思いま
す。
これからもよろしくお願いま
す。

避難訓練

藍サポートネットワークで
は、定期的に各事業所ごとに
避難訓練を実施しています。
例えば、火災や地震でエレベ
ーターが使用できなくなった
際に階段を使用したりと、
様々な想定をして避難訓練に
取り組んでいます。

また、避難場所が各事業所ご
とに決まっているので、地域
の避難場所と連絡を取りなが
ら行っていく予定です。

皆さんに危機意識を少しでも
持つてもらう為に、今後も訓
練を定期的に継続していき、
もしもの事が起こった際には
迅速な対応ができるように心
掛けていきます。



地震を想定して机の下に避難

陶芸始めました

第二ひらのグループ3では、創作活動の一環として陶芸にチャレンジしています。まずはクッキー型を使ってマグネットや箸置き、小皿を作りました。



型を取った粘土を乾燥してからオーブンで焼いてアクリル絵の具やペンなどで色を塗り、個性的でかわいい作品が出来上がりました。粘土の感触・手触りがとてもよくて粘土をこねると気持ちもほっこりします。

合同ストレッチ

毎週火曜日の午後、グループ2とグループ3の全員で1階に集まってストレッチを始めました。ひとりひとり順番に数を数えながら、体を伸ばしたりパランスを取ったり楽しく体を動かしています。和気あいあいとした雰囲気の中、床に敷いたマットやラグの上でリラククスして取り組まれています。また、合同レクリエーション活動もあり、3階（グループ3）と1階（グループ2）の交流が増え、楽しそうに参加されている光景が見られます。



合同レクリエーション活動

新しい仲間

第二ひらでは4月から新メンバーを迎え作業に励んでいます。新メンバーさん（写真右）は1月22日生まれで、誕生日が22日なので、数字の「22」が大好きだそうです。



これからもよろしくお願ひします。（右：新メンバーさん）

他にも好きなものがあり「阪神タイガース」「氷川きよし」「吉本新喜劇」「カラオケ」です。好きな色が「青色」なので第二ひらのに会いに来てくださる時は、ぜひ青色の服装で遊びに来てくださいなね。